

先進林業機械開発促進事業（継続）

【平成25年度概算決定額 45,217（45,217）千円】

事業のポイント

先進的な機能を有する林業機械の開発を促進します。

<背景／課題>

- ・ 林業の再生のため、間伐対象林の集約化、路網整備、人材の育成とともに、これまでもより一層生産性が高くコストの低い作業システムを普及する必要があります。
- ・ 我が国の条件に合致した先進的な機能を有する林業機械の開発を促進する必要があります。

政策目標

素材生産量に占める高性能林業機械を使用した生産量の割合を平成27年度に6割へ拡大（3割（平成16年）→6割（平成27年））

<内容>

先進林業機械の開発

従来我が国で普及している機械とは異なる先進的なコンセプトを有しつつ、我が国の条件に合致した林業機械を開発します。

<事業実施主体>

民間団体

<補助率>

1／2

<事業実施期間>

平成24年度～26年度（3年間）